

第 89 回 ドラッカー「マネジメント」研究会〈発表〉

テーマ：新しい現実とマネジメント ―サードキャリア構築の取り組み―

2023 年 5 月 20 日

宮本定幸

●職業人（社会人）としての歩み

- 1) 大学新卒で部品メーカーに勤務 [10 年]：工場、物流、営業 … **ファーストキャリア**
→VA/VE、QC、物流システム、営業管理（納期管理、計数管理、部門決算）など →**職業人の土台作り**
- 2) 夜間大学院修士課程 [3 年]（経済学研究科）→**学び直し（社会認識の刷新、論理的思考の訓練など）**
→前職が事務職であったことから「経営学」（MBA コース）の選択が妥当と思われたが、それまでの仕事・生活の延長ではない道を検討し、「経済学」（国際開発コース）を選択した。そして異なる世界の事情、新しい思想や理論を学んだ。
- 3) 個人事業主 [25 年]：教育業界への転身と展開 ①→②→③ … **セカンドキャリア**
→①社会人向け通信教育（「赤ペン先生」）、②社会人向け大学院進学予備校および大学通信教育補習校の講師、③**企業研修業務（大学付属機関経由での受託：人材育成研修、昇進・昇格資料の評価）、大学通信教育の講師および教材作成など）**
→**主として請負（外部委託契約）…独立性・創造性が不十分**
- 4) **サードキャリア**の構築に向けた取り組み [これからの 10 年、15 年…] →**現在地（2023/04/30）**
 - 指 針：自主性／自律性、創造性、完結性（目標の設定から達成までを視野に入れて取り組む）
 - 方向性：評価中心から支援中心へ、請負から提案へ（創造的・効果的な人材育成プログラムの開発と実施）
 - 取り組み：キャリアコンサルタント登録（国家資格、2021 年 9 月）
キャリア・デベロップメント・アドバイザー登録（日本キャリア開発センター、2022 年 4 月）
傾聴ボランティア団体設立（東京都北区、2023 年 4 月申請・認可、設立メンバー 9 名）

●ドラッカー「マネジメント」研究会における継続的学びと実践

【経緯】

会社勤めの頃からドラッカーには関心があった。『経営者の条件』は座右の書の 1 つ。個人事業主に転じた後、企業研修業務の受託が増えるに従ってマネジメントを学ぶ必要性を強く感じるようになり、2016 年 3 月に学会に入会した。入会後に参加した「春の大会」で「**マネジメント・スコアカード（MSC）**」に興味を持ち、本格的に学ぶために**ドラッカー「マネジメント」研究会**に入会した。それから今日まで、ドラッカーのマネジメント思想・理論について志のある人たちと一緒に学んでいる。

【サードキャリアの形成に向けた問題意識・取り組みの方向性】

企業研修業務（上場企業、外資企業）では「課題レポート」「事例問題」など 1 万件を超える論述回答の審査・助言をしてきたが、「受講者（受検者）の多くは問題状況を把握できても、効果的な課題設定や具体策の立案ができていないケースが目立つ」という傾向が毎年続いていた。「人・組織が変わらない／変わることができない」状況を改善する必要性を強く感じていたが、受検者の当事者意識・役割認識への働きかけをはじめ改善に向けた取り組みが十分にはできなかった。

サードキャリアでは人・組織の問題解決（成果）につなげるために「評価」から「支援」へと軸足を移し、「行動変容」に焦点を当てた取り組みを目指す。その手段の 1 つとしてカウンセリング資格を取得し、現在はその知識・技能の向上とネットワークの形成に注力している。

【My-MSC の取り組み】（取り組み後の変化）

《Before》 これまでの延長で「研修講師やアドバイザーとして身を立てる」という漠然としたイメージ。

《After》 まだ「仮」であるが、事業の理念、定義、方向性が明確になってきた。事業構想の具体的検討が可能になり、いまでできること（やるべきこと）に取り掛かっている（カウンセリング練習、ネットワーキングなど）。そして、「目標管理」「自己管理」が結果の良否を左右することを再認識し、日常の実践を心掛けている。

以上